

年 度 評 価 シ ー ト

課名 精神保健福祉課

施設の名称 静岡市支援センターみらい	指定管理者名 公益社団法人静岡県精神保健福祉会
1 履行状況	
<p>業務仕様書及び事業計画書に従っておおむね概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 施設利用者数</p> <p>延べ利用者数は 2,485 人で、目標数値である 4,900 人の半分以下である。こころの健康センターや県立大学へみらいの職員が出向き、障害、支援センターの活動に対する理解促進を図るための普及啓発等の講話を実施しているが、今後も利用者増のために活動等をより多くの場で周知していく必要がある。</p> <p>精神障がい者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができる支援を行っているため、良好な運営がなされていると考える。</p> <p>(2) 事業実施状況</p> <p>おおむね事業計画のとおり実施されており、</p> <p>主な事業の定員と参加者は以下のとおり。良好に実施されている。</p> <p>ア 相談支援事業</p> <p>相談件数は 2,421 件である。目標数値である 1,900 件を上回っている。</p> <p>イ 地域活動支援センター事業</p> <p>おおむね事業計画のとおり実施されており、利用者の希望を取り入れたプログラムを開催している。</p> <p>ウ 退院支援事業</p> <p>退院支援連絡会議の開催(年 12 回)、主な活動としては退院に向けた準備段階から対象者の相談に応じ、関係機関との連絡調整をしている。</p> <p>エ 地域交流活動</p> <p>みらい親の会、静岡市静心会サロン、家族茶話会等計 6 回実施した。</p> <p>また、県立大学への講義を行う等、積極的な啓発活動にも取り組んでいる。</p>	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
<p>利用者からの意見・要望に対しては、即時に対応・協議し、解決を図る等、良好な対応がなされている。</p> <p>また、利用者とのミーティングを月に 1 回行っており、意見・要望を積極的に取り入れる体制が整えられている点も高く評価できる。</p>	
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価	
<p>(1) 利用者満足度調査</p> <p>施設利用者に対して、利用者満足度調査を行った結果、「満足」「とても満足」と答えた利用者は、施設設備、職員の対応に対しては 56%、利用料の価格に対しては 50%となっており、半数が施設利用に関して満足度が高い結果となった。プログラムの内容に対しては 45%と半数を下回ったが、料理教室やヨガ教室、音楽教室等、利用者の要望に沿ったプログラ</p>	

ムも組んでおり、今後満足度は増加するのではないかと考える。

そのため、利用者の多くにとって適切な施設運営がなされていることがわかる。

(調査期間：平成 31 年 1 月 21 日～平成 31 年 2 月 25 日 有効回答者数：18 人)

(2) 市民アンケート

本施設は、主に精神障がい者等を通わせ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進のための施設であり、利用者が限定されているため、広く市民一般を対象としたアンケートは実施していない。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、おおむね予算のとおりには執行されており良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

精神障害者の居場所の提供を行うことで社会交流の促進と日常生活の向上を目的としている。地域社会交流が促進されていることは評価される。今後も日常生活の基本的技術の向上を図るための活動を、利用者の声を聞きながら計画し、実施する。

利用者満足度調査において、利用者からの意見の中に「施設の部屋区分は支援センターおさだの時のほうが良かった」という意見があり、環境が変わったことで通いづらくなったと感じる利用者もいるようだった。おさだには通っていたが、みらいには通わなくなったという声に対しての支援も今後求められる。